

(仮称) 青南 R E R ガス化溶融炉増設事業に係る環境影響評価
準備書に対する環境の保全の見地からの意見

- 1 環境影響評価方法書において、青森県環境計画で掲げる開発事業等における環境配慮指針との整合が図られているかを評価するとしていた環境影響評価項目のうち、一部の項目については、これに基づいた評価が行われていないことから、評価し直すこと。
- 2 地下水（水位）について、予測の不確実性が大きいため、環境保全措置として揚水試験を実施し、揚水量を適正揚水量の範囲内にするとしているが、対象事業実施区域及びその周辺には上水道が整備されていないことから、住民意見において、地下水に関する懸念が示されている。そのため、揚水に当たっては、適正揚水量を遵守するとともに、必要に応じて揚水試験の結果を公表し、地下水に関する周辺住民の不安解消に努めること。
- 3 対象事業実施区域内では、砒素及びその化合物の土壌溶出量基準に適合しない地点が確認されている。当該地点において土地の造成等を行う場合には、基準不適合土壌が表面に露出しないように施工するとともに、当該土壌が飛散及び流出しないよう十分配慮すること。
- 4 工事用車両の走行に伴う陸生動物への影響について、通行経路である国道7号は交通量が多いことから交通車両増加分による影響は極めて小さいとしているが、国道7号から対象事業実施区域までの通行経路においては、現況に対し交通車両の増加が大きいと考えられることから、これを踏まえて予測及び評価を行うこと。